

視点

保険給付のシフトの始まり

今年の健保改正での注目点は、高額療養費の見直しとOTC類似薬への患者負担の導入である。高額療養費の見直しは、患者団体の反対を受け、実現しなかったもので、昨年からの積み残しだ。一方、OTC類似薬の患者負担は、自民党が連立を組んだ日本維新の会のOTC類似薬給付除外の主張を汲んだものである。双方、特に関連なく改正となったものだが、こうして並べてみると、保険給付は患者負担の大きいものはカバーするが、小さいものは給付範囲から外していくというシフトの始ま

りのように見える。質の高い高額な医療でも、日常的な低額な医療でも、いつでもどこでも受けられるという国民皆保険は限界に近い。特に維新の会が保険料は上げないと言い出し、若い世代がこれを支持している状況では、これからは皆保険のどこを削って、どこを守るのかという議論は避けられない。

つまり、がんや難病のような重篤で命にかかわり高額になる医療は保険給付を維持するが、風邪や花粉症のような普通にある症状に対する比較的低額な医療については保険給付を縮小していくという方向なのだろう。これは、医療保険が医療費負担による家計の破綻を回避することが主目的であることからみても理にかなっている。当面は、外来薬剤給付の見直しということになるが、いずれは外来医療全般のあり方の見直しにつながるであろう。別の見方をすると、医師のパターンリズムは止めにして、セルフケア・セルフメディケーションが本格化していくということである。これからの超高齢化社会では、当たり前の方向なのだろう。

社会保険旬報

目次

No.2988 2026年1月21日

視点

保険給付のシフトの始まり 3

座標

上野厚労相が診療報酬改定を諮問
日慢協が地域多機能型病院の必要強調 4
日医の女性医師の令和6年度現況調査
DX専属職員を局長級の政策統括官に 5

動向

制度改革の努力で社会保障関係費の増加分を抑制する
一政府が令和8年度予算案を閣議決定 6

論評

韓国の診療報酬改革論議
一「公共性の強化」を中心とした
李在明政権の政策基調を踏まえて
金道勲 10

全世代型社会保障への道筋②

社会保険料負担は限界を突破？
山崎泰彦 16

随想一視診・聴診

行っていません
高山哲夫 17

潮流

診療報酬改定の物価対応方法を了承 18
中医協が改定の「議論の整理」まとめる ... 20
システム等料金を選定療養で請求可に ... 22
薬価改定は0.86%の引下げで決着 23
上野厚労相が医療現場の課題で発言 24
医療関連の令和8年度税制改正 25
厚労省が令和6年三師統計の結果を発表 .. 26
令和6年度高齢者虐待調査の結果 29

特別レポート

地域医療戦略をデータで再定義し
DPC移行へ
一千葉秀心会 東船橋病院 30

NEWS

松本日医会長が予算対応を
「着実に実行」と抱負 32

経済スコープ 35

雇用・労働の動き 37

療養の給付の取扱いについて 41

第63回診療報酬請求事務能力認定試験

医科・学科試験問題の解答と解説 49

編集室・ワードカプセル 50